

総務委員会 行政視察調査報告書

- 1 視 察 日 2025年5月19日（月）～21日（水）
- 2 視 察 先 調査事項
- 佐賀県唐津市
 - ・移住定住の取り組みについて
 - 福岡県福津市
 - ・福津市未来共創センター「キッカケラボ」の取り組みについて
 - ・福津市 郷づくりについて
- 3 視 察 者
- | | |
|---------|--------------|
| 委 員 長 | 村 岡 峰 男 |
| 副 委 員 長 | 芹 澤 正 志 |
| 委 員 | 芦 田 竹 彦 |
| 委 員 | 石 田 清 |
| 委 員 | 岡 本 昭 治 |
| 委 員 | 中 尾 浩 二 |
| 委 員 | 西 田 真 |
| 当 局 | 狩 直 哉（経営企画課） |
| 議会事務局 | 山 本 雅 彦 |



移住定住の取り組みについて説明を受ける



唐津市議場にて



福津市の取り組みについて説明を受ける



福津市役所前にて

日 時	2025 年 5 月 19 日（月） 午後 2 時 00 分～3 時 30 分
視 察 先	佐賀県唐津市
調査項目	移住定住の取り組みについて
調査内容	人口減少対策が急務である状況は、全国の地方において共通の課題である。移住定住対策はどの自治体も取り組んでいる課題であるが、唐津市における特徴的な取り組みとその成果を下記の 5 つのテーマについて伺った。 ①「住居対策」、②「勤務・労働対策」、③「学校・地域における住居・環境対策」、④「移住定住者を呼び込む PR」、⑤「地域おこし協力隊」
所 感	①「移住対策」移住前から移住後まで、移住コンシェルジュ（3 名）が中心となりサポートを行っている。市はその業務を NPO 法人へ委託し、移住を希望する人の住居、職、子育てなど、あらゆる相談に対応している。NPO の自主事業である「お試し住居」も活用。 相談は、電話・窓口・オンラインで随時対応しており、必要に応じて関係機関や先輩移住者へと橋渡しをしている。また、宅建協会と連携し、移住者向けのサポートをする組織（宅建移住サポートからつ）を立ち上げ、住まいサポートを実施。市では空き家バンクを活用した、移住者向けの改修補助金も用意している。 ②「勤務・労働対策」国・県の補助金を活用して、移住支援金（就業要件）を支給。必要に応じてハローワークや県の求人サイトを紹介。 また、起業希望者には創業支援金、創業相談などを紹介するとともに、希望に応じて同じ業種の先輩移住者や地域住民を紹介している。 ③「学校・地域における住居・環境対策」移住者の希望に応じて、教育委員会や地域コミュニティへ紹介。また、中高生向けの講演会を開催して、移住者から唐津の魅力等について講演してもらっている。 ④「移住・定住者を呼び込む PR」東京での「移住フェア」への出店や、定期的にオンライン相談会をふるさと回帰支援センターと連携して開催している。また、アフターフォローとして、先輩移住者と地域住民の交流会を定期的に開催している。 ⑤「地域おこし協力隊」過去 15 年で 8 名（転出：3 名、定住：3 名、現在就任中：2 名）の隊員が就任。就任期間中の家賃は全額市が負担。退任後、起業する場合には 100 万円を上限として、起業支援補助金を交付。 *豊岡市の暮らしに興味はあるけど、どう始めたらいいのか分からない方がいらっしやると思います。そんな方と地域を繋いでいくサポートを充実させることが今後大切になってくると感じた。

日 時	2025 年 5 月 20 日（火） 午後 1 時 30 分～3 時 00 分
視 察 先	福岡県福津市
調査項目	福津市未来共創センター「キッカケラボ」の取り組みについて 福津市 「郷づくり」について
調査内容	一人ひとりの豊かな暮らしが広がり、福津市が持続可能な住みよい街となることを目指し行う「市民活動」に関心のある人（団体）を伴奏支援する中間施設「キッカケラボ」の活動を伺う。 また、「自分たちの地域は、自分たちで守り育てる」という考えのもと、福津市に住んでいる皆さんが中心となって取り組む活動「郷づくり」の内容を伺う。
所 感	「キッカケラボ」は、市に関わるみんながつながりあい、新たな可能性を創り出すプラットフォームとなる施設で、課題解決に取り組む市民活動団体はもちろん、自分の趣味や関心ごとを広めたい人、地域との連携を求める企業や学校など、あらゆる人が参加して、学び合い、意見を出し合いながら、生きがいを持って暮らせるまちを目指し、SDGs 未来都市として、持続可能なまちづくりの実現を目指して活動している。 活動例①「ふくつたいけんプログラム」地域で何か活動したいと思っても、一歩を踏み出すのには勇気がいります。市民活動団体の活動に参加したり、充実した毎日を過ごす人の仕事をサポートしたりと、普段はなかなか垣間見ることができない福津のいいところが体感できる、一日体験プログラム 14 種類を用意している。 活動例②「場づくりファシリテーター実践塾 BA・School バスクール」などのさまざまなテーマ型交流会を開催。人が集まり、語り合う場をつくる。その場があることで出会い、仲間が生まれ、そこから暮らしを豊かにする新たなつながりが生まれることを期待。 「郷づくり」市内をおおむね小学校区を単位とする 8 地区に分け、各地域に「郷づくり推進協議会」を設立し、自治会を中心として、各種団体やボランティアなどと協力・連携して、地域づくりに取り組んでいる。 《総人口は増えているが、地域差が大きい。地域の活力の中心である生産年齢人口はほとんど増えていない⇒さまざまな分野で担い手が不足》この危機感から、多様な地域課題には、自治会を超えた広域な対応が必要として、自治会を基軸として協議会ごとに郷づくりに取り組んでいる。①防災・減災、②子育て、③福祉、④環境景観、⑤地域交流・活性化などがこれにあたる。 *社会環境の変化に合わせて、地域住民が地域の魅力向上や課題解決に取り組む「まちづくり」は学ぶところ、参考にすべき内容が多くあった。